

# 介護給付費準備基金取崩額の検討

## ①介護保険料収納必要額関係

		第 7 期 (H30～32年度)	H37年度
標準給付費見込額	/	2,395,811,888	986,568,863
地域支援事業費見込額		181,680,000	75,204,000
第 1 号被保険者負担分相当数		592,823,134	265,443,216
調整交付金相当額		125,626,594	51,823,743
調整交付金見込額		118,895,000	49,751,000
保険料収入収納率		99.5%	99.5%

## ②介護給付費準備基金取崩額の影響（介護保険料基準額の算定比較）

※【案1～3】については、前回委員会提示額に介護報酬改正・処遇改善加算・消費税の影響額及び地域支援事業の見直しに係る額を算出したもの

	前回委員会提示	【案1】6千万	【案2】7千万	【案3】全額	H37年度
介護給付費準備基金取崩額	60,000,000	60,000,000	70,000,000	76,491,000	0
保険料収納必要額	529,701,055	539,554,729	529,554,729	523,063,729	267,515,959
保険料収納必要額（月額）	5,656	5,750			7,868
保険料収納必要額（年額）	67,872	69,000			94,416
介護給付費準備基金取崩額（月額）	575	575	671	734	0
基準保険料（月額）	5,080	5,175	5,079	5,017	7,868
基準保険料（年額）	60,960	62,100	60,948	60,204	94,416

※基準保険料（月額・年額）については、今後、端数調整必要